

星プロジェクト

R4.7 市立岡部保育所 藤むぎ

6月に、プラネタリウム遠足があったので、「星」に興味をもつと嬉しいな〜と毎日の絵本の時間に 星座の神話を読み始めたことがきっかけでした。



少し難しいかな...? とはじめは思いましたが、子ども達のペースで楽しみ、「今日は星座よむ?」と期待ある姿や、12星座のうち自分や家族、何座なんだろ?? 12星座以外にも おもしろい名前の星座もあるぞ! と広がっていきました。

あそびの時間にも



読んでリ。

宇宙ステーションに
関心も。



あ!! みて!!
うわ!! 星座がある!!



発見し、作り始め
飾ることに。



いざ 飾ることに...



是れから!! 星座 協力あつ



補いあ

どうやって
おるん?

飾りつけの
台紙作り



相手がどうしたら
わかるか。言葉で伝えあい
これはー
こうしてー

他にも... フォト星座を製作



書き写してー



穴をあけてー



このつに貼りつけー



どう? みえた??
わー!! 何? 何?

こんな感じに、共通の目的に向かって友達と驚きや喜びを共有してきました。この経験は、子ども達が期待をもって環境へ関わり、発見を楽しんでリ、車にいろいろなと試行錯誤してみよう!! としたりある気持ちを支えるものとなります。

そして、遠足当日を迎えました。



遠足を終えて...

「製作」の絵本を対した子が「これおもしろそう!!」と「新聞紙テント」を共有しました。



好きな遊びの時間に...



朝の会(サークルタイム)でクラスに共有

テントをつくらって、星座をかいたらプラネリウムになるんじゃない!!

☆ え!!セリター!! ☆ と ☆ わくわくする藤みぞ!!

とりあえず、保育所にあった廃材を...



座のゆるさも...

廃材の性質を感じとりまわ。でもよかたかうまいかあ(長き)本通り来々開でしよう!とまりました。

新聞を集めよう!! と貼り出し作り



ご協力ありがとうございます!!

固いな...

力をあわせて...!!



もっとゆっぺりかいいかも 思考、提案



こんなにたくさん♡



一人じゃできない枠組み みんなで協力 失敗を重ね、よりよいものを つくらうと、じもイ本も集中で遊ばまわ



どこにのりをはるといい? 考えまわ



ジャン!

テントの様子は、『星空』と『森』がテーマでそうである。



完成したあと... いって座のケイロン(ケントウリス)やさそりをつくり、なりました遊ばまわもありました。



その後... テントはかたむき... みんなでお片付けしました。

↑サリ

②「星空テント」という共通の目的に向けて、考えたことを相手にわかるように伝えながら、工夫したり、協力したり、充実感をもってやり遂げていました。
「これはどう?」「いいね!」と、活動する中でそれぞれの持ち味が発揮されていきました。互いのよさを認めあう関係ができていくことはとても大切です。
幼少期に育まれた仲間性は 教師や友達と協力して生活したり学び合ったりする姿につながります。
また、素材の性質を感じとったり、気付いたり、
失敗をくりかえす中で、より強度な枠はどうすればできるのか?!
探究心をもって考えたり試したりする経験は主体的に問題を解決する態度へつながっていきます。

